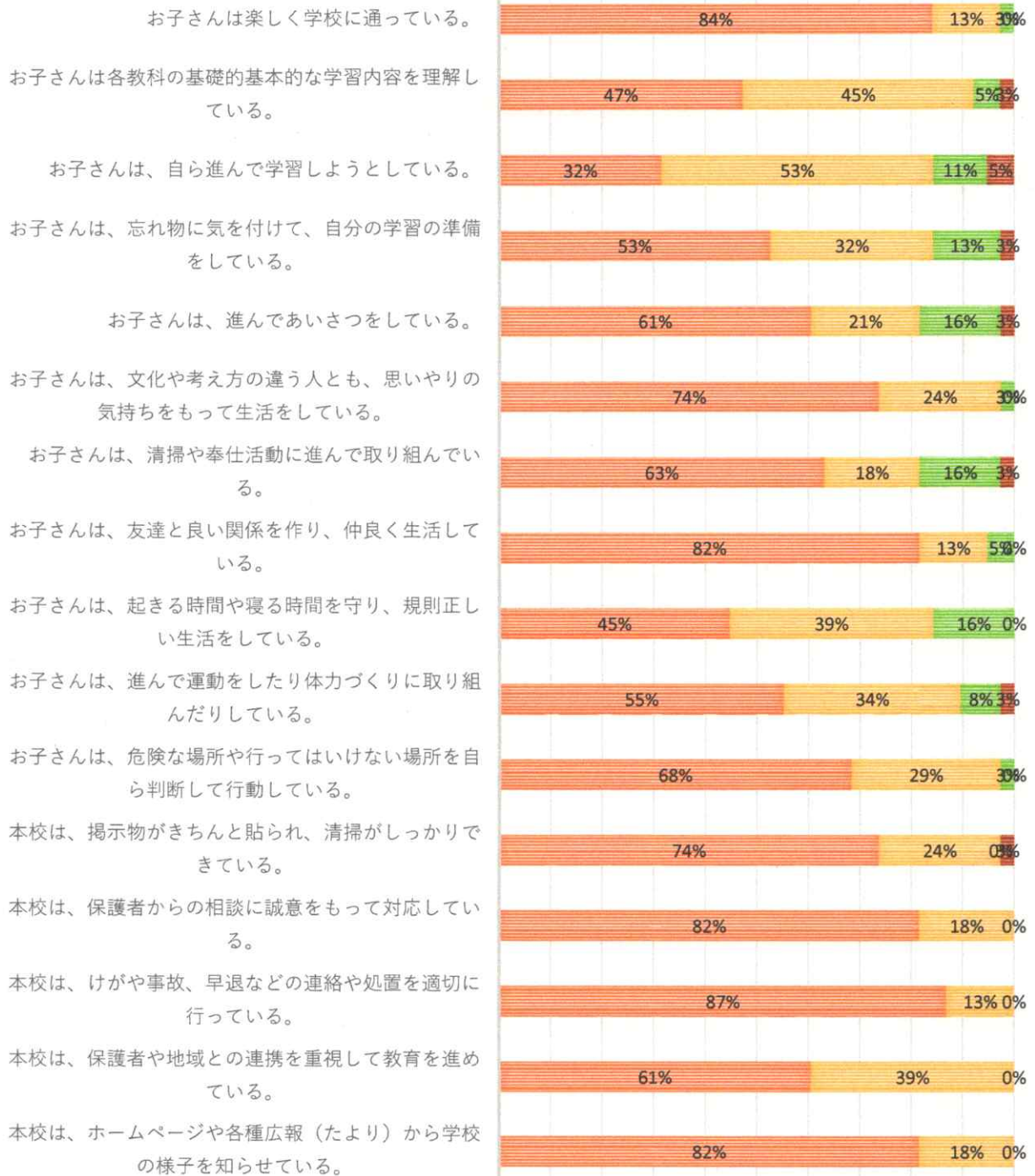


令和5年度 後期学校評価（保護者）

■ そう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらかと言えばそう思わない ■ 全く思わない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



16項目中、10項目で90%以上の肯定的評価（「そう思う、どちらかと言えばそう思う」の評価をあわせたもの）をいただきました。

(1)「本校は、保護者からの相談に誠意をもって対応している」「本校は、けがや事故、早退などの連絡や処置を適切に行っている」「本校は保護者や地域との連携を重視して教育を進めている」「本校は、ホームページや各種広報（おたより）から学校の様子を知らせている」100%

本校教職員が子供たちのために適切な対応を心掛け、工夫・努力していることに高い評価をいただいたことは大変励みになります。今後も引き続き、保護者の皆様との信頼関係を築きながら、安心・安全な学校を目指し、子供たち一人一人を大切に、子供たちが「学校が楽しい」と感じられる教育活動を進めて参ります。

(2)「自ら進んで学習しようとしている」(前期 70%→後期 85%)

前期のアンケートでは、受け身的で、主体的に学習や運動に取り組もうとする力が弱いことがうかがえましたが、「家庭学習強化週間」を設け、具体的にどのように取り組めばよいかを、ギガタブ等を利用して教師側から示したことにより、子供たちの発達段階に応じて、自主的に学習に取り組もうとする態度が育まれたことが分かります。また、ご家庭でも家庭学習の取組を応援していただいたことでさらに、子供たちの意欲も高まったと思われます。引き続きご理解ご協力をよろしく願いいたします。

(3)「進んで運動をしたり体力づくりに取り組んだりしている」(前期 83%→89%)

体育委員会が鉄棒や縄跳びなど「体力強化週間」を業間休みに設定して、継続して運動することを呼び掛けたことにより、自主的に取り組もうとする子供たちの様子が見られました。

(4)「文化や考え方の違う人とも、思いやりの気持ちをもって生活をしている」(前期・後期ともに 98%)

学校教育目標である「みんなちがって みんないい」を教師も子供たちも共通理解し、お互いを肯定的に認め合い、3つの「きょうかん」『共感』『共歓』『共汗』を大切にした教育活動を進めてきた成果と受け止め、引き続き異文化や習慣を理解し、認め、共生することのできる国際性豊かな子供の育成を進めて参ります。

たくさんの貴重なご意見もありがとうございました。保護者の皆様からいただいたご意見は全教職員で共通理解し、子供たちのよりよい成長のために活かしてまいります。ありがとうございました。